

注3

大学番号：私257

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

神戸松蔭女子学院大学 教育学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人松蔭女子学院

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部

職名・氏名 ショウ 次長 サカイ 阪井 ユタカ 裕

電話番号 078-882-6121

（夜間） 078-882-6121

F A X 078-801-1185

e-mail shoin-monka@mb.shoin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1～4
2. 授業科目の概要	5～18
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21～34
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36～37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人松蔭女子学院

(2) 大学名

神戸松蔭女子学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒657-0015
兵庫県神戸市灘区篠原伯母野山町1丁目2-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカムラ ユタカ) 中村 豊 (平成28年4月1日)		
学長	(マチダ ショウジ) 待田 昌二 (平成28年4月1日)		
学部長	(タニガワ コウジ) 谷川 弘治 (平成31年4月1日)		
学科長等	(クラ マチコ) 倉 真智子 (平成31年4月1日)	(オオシタ タクジ) 大下 卓司 (令和2年4月1日)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	120人	年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120 (-) [-]		120 () []		() []		() []		() []		0.90倍	-	
志願者数	515 (-) [-]		622 (-) [-]		() []		() []		() []				
受験者数	476 (-) [-]		552 (-) [-]		() []		() []		() []				
合格者数	312 (-) [-]		324 (-) [-]		() []		() []		() []				
B 入学者数	108 (-) [-]		108 (-) [-]		() []		() []		() []				
入学定員超過率 B/A	0.90		0.90										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	108 [-] (-)	[-] (-)	108 [-] (-)	[-] (-)	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		106 [-] (-)	[-] (-)	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		/		[]	[]	[]	[]	[]
4年次	/						/		[]	[]	[]
計			108 [-] (-)		214 [-] (-)				[]		[]

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	108 人	2 人	令和元年度	2 人	人	除籍(1人)、その他(1名)
令和2年度	214 人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		2 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{108} = \boxed{1.85} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{214} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1)-① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
松蔭とキリスト教	神戸松蔭とキリスト教	1前	2								1
	キリスト教の基礎	1後	2								1
	キリスト教思想	2・3前	2								1
	現代のキリスト教	2・3前	2								1
	キリスト教と諸宗教	2・3前	2								1
	キリスト教の歴史	2・3後	2								1
	キリスト教と文化	2・3後	2								1
小計(7科目)	-										
キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2								1
	キャリアデザインⅡ	2前	2								1
	ホスピタリティ・マネジメント	1・2後	2								1
小計(3科目)	-										
コミュニケーション	伝わる文章A	1・2前	2								2
	伝わる文章B	1・2後	2								2
	コミュニケーション・スキル	1・2前・後	2								1
	伝わる話しことば	2・3前・後	2								1
小計(4科目)	-										
情報	情報リテラシーA	1前	1								3
	情報リテラシーB	1後	1								3
小計(2科目)	-										
教養	くらしと憲法	1後	2								1
	日本の歴史	1・2前	2								1
	地球環境と人間	1・2前	2								1
	くらしと医療	1・2前	2								1
	こころの健康	1・2前	2								1
	ジェンダー論入門	1・2前	2								1
	くらしの中の統計学	1・2後	2								1
	現代の倫理	1・2後	2								1
	現代社会とメディア	1・2後	2								1
	児童文学	1・2前・後	2								1
	世界の歴史	1・2前・後	2								1
	現代社会と政治	1・2前・後	2								1
	現代社会と経済	1・2前・後	2								1
	女性と法	1・2前・後	2								1
	文化人類学	2・3後	2			1					1
小計(15科目)	-										
健康スポーツ	スポーツ実習	1・2前・後	1								4
	小計(1科目)	-									

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
松蔭とキリスト教	神戸松蔭とキリスト教	1前	2								1
	キリスト教の基礎	1後	2								1
	キリスト教思想	2・3前	2								1
	現代のキリスト教	2・3前	2								1
	キリスト教と諸宗教	2・3前	2								1
	キリスト教の歴史	2・3後	2								1
	キリスト教と文化	2・3後	2								1
小計(7科目)	-										
キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2								1
	キャリアデザインⅡ	2前	2								1
	ホスピタリティ・マネジメント	1・2前・後	2								1
小計(3科目)	-										
コミュニケーション	伝わる文章A	1・2前	2								2
	伝わる文章B	1・2後	2								2
	コミュニケーション・スキル	1・2前・後	2								1
	伝わる話しことば	2・3前・後	2								1
小計(4科目)	-										
情報	情報リテラシーA	1前	1								3
	情報リテラシーB	1後	1								3
小計(2科目)	-										
教養	くらしと憲法	1後	2								1
	日本の歴史	1・2前	2								1
	地球環境と人間	1・2前	2								1
	くらしと医療	1・2前	2								1
	こころの健康	1・2前	2								1
	ジェンダー論入門	1・2前	2								1
	くらしの中の統計学	1・2後	2								1
	現代の倫理	1・2後	2								1
	現代社会とメディア	1・2後	2								1
	児童文学	1・2前・後	2								1
	世界の歴史	1・2前・後	2								1
	現代社会と政治	1・2前・後	2								1
	現代社会と経済	1・2前・後	2								1
	女性と法	1・2前・後	2								1
	文化人類学	2・3後	2			1					1
小計(15科目)	-										
健康スポーツ	スポーツ実習	1・2前・後	1								4
	小計(1科目)	-									

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
松蔭とキリスト教	神戸松蔭とキリスト教	1前	2									1
	キリスト教の基礎	1後	2									1
	キリスト教思想	2・3前	2									1
	現代のキリスト教	2・3前	2									1
	キリスト教と諸宗教	2・3前	2									1
	キリスト教の歴史	2・3後	2									1
	キリスト教と文化	2・3後	2									1
小計(7科目)	-											
キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2									1
	キャリアデザインⅡ	2前	2									1
	ホスピタリティ・マネジメント	1・2前・後	2									1
小計(3科目)	-											
コミュニケーション	伝わる文章A	1・2前	2									2
	伝わる文章B	1・2後	2									2
	コミュニケーション・スキル	1・2前・後	2									1
	伝わる話しことば	2・3前・後	2									1
小計(4科目)	-											
情報	情報リテラシーA	1前	1									3
	情報リテラシーB	1後	1									3
小計(2科目)	-											
教養	くらしと憲法	1後	2									1
	日本の歴史	1・2前	2									1
	地球環境と人間	1・2前	2									1
	くらしと医療	1・2前	2									1
	こころの健康	1・2前	2									1
	ジェンダー論入門	1・2前	2									1
	くらしの中の統計学	1・2後	2									1
	現代の倫理	1・2後	2									1
	現代社会とメディア	1・2後	2									1
	児童文学	1・2前・後	2									1
	世界の歴史	1・2前・後	2									1
	現代社会と政治	1・2前・後	2									1
	現代社会と経済	1・2前・後	2									1
	女性と法	1・2前・後	2									1
	文化人類学	2・3後	2				1					
小計(15科目)	-											
健康スポーツ	スポーツ実習	1・2前・後	1									4
	小計(1科目)	-										

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	General English A	1前	2					1			4
	General English B	1後	2					1			4
	Practical English A	2前	1					1			3
	Practical English B	2後	1					1			3
	フランス語 I A	1前		1							1
	フランス語 I B	1後		1							1
	フランス語 I C	1前		1							1
	フランス語 I D	1後		1							1
	中国語 I A	1前		1							1
	中国語 I B	1後		1							1
	中国語 I C	1前		1							1
	中国語 I D	1後		1							1
	韓国語 I A	1前		1							1
	韓国語 I B	1後		1							1
	韓国語 I C	1前		1							1
	韓国語 I D	1後		1							1
小計(16科目)	-										
教養教育科目	基礎演習A	1前	2			1	2	3			
	基礎演習B	1後	2			1	2	3			
	教育現場体験	1後	1			3		2			1
	教育学演習A	3前	1			2	4	2			
	教育学演習B	3後	1			2	4	2			
	卒業研究	4通	4			3	4	3			
	スポーツと健康	1前	2								1
	小計(7科目)	-									
専門教育科目	教職概論	1前	2			1					
	教育社会学	1前	1								1
	特別支援教育入門	1前	2					1			
	教育方法の理論と実践	1前	2				1				
	教育原理	1後	2				1				
	学習・発達論	1後	2			1					
	教育の制度と経営	2前	2					1			
	教育相談の理論と方法	3・4後	2			1					
	幼児教育の計画と評価	1前		2			1				
	幼児理解の理論と方法	2・3後	2			1					
	教育課程の意義と編成	1前	2				1				
	道德教育の理論と方法	2・3前	2				1				
	総合的な学習の時間の指導法	3前	2			1					
	生徒指導の理論と方法	3・4前	2			1					
	特別活動の理論と方法	3・4前	2								1
	進路指導の理論と方法	3・4前	1								1
小計(16科目)	-	34									

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	General English A	1前	2						1			4
	General English B	1後	2						1			4
	Practical English A	2前	1						1			3
	Practical English B	2後	1						1			3
	フランス語 I A	1前		1								1
	フランス語 I B	1後		1								1
	フランス語 I C	1前		1								1
	フランス語 I D	1後		1								1
	中国語 I A	1前		1								1
	中国語 I B	1後		1								1
	中国語 I C	1前		1								1
	中国語 I D	1後		1								1
	韓国語 I A	1前		1								1
	韓国語 I B	1後		1								1
	韓国語 I C	1前		1								1
	韓国語 I D	1後		1								1
小計(16科目)	-											
教養教育科目	基礎演習A	1前	2			1	3	2				
	基礎演習B	1後	2			1	3	2				
	教育現場体験	1後	1			3		2			1	
	教育学演習A	3前	1			2	5	1				
	教育学演習B	3後	1			2	5	1				
	卒業研究	4通	4			3	5	2				
	スポーツと健康	1前	2								1	
	小計(7科目)	-										
専門教育科目	教職概論	1前	2			1						
	教育社会学	1前	1								1	
	特別支援教育入門	1前	2				1	2			1	
	教育方法の理論と実践	1前	2					1				
	教育原理	1後	2					1				
	学習・発達論	1後	2			1						
	教育の制度と経営	2前	2					1				
	教育相談の理論と方法	3・4後	2			1						
	幼児教育の計画と評価	1前		2			1					
	幼児理解の理論と方法	2・3後	2			1						
	教育課程の意義と編成	1前	2				1					
	道德教育の理論と方法	2・3前	2				1					
	総合的な学習の時間の指導法	3前	2			1						
	生徒指導の理論と方法	3・4前	2			1						
	特別活動の理論と方法	3・4前	2								1	
	進路指導の理論と方法	3・4前	1								1	
小計(16科目)	-											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語科目	General English A	1前	2					1				4	
	General English B	1後	2					1				4	
	Practical English A	2前	1					1				3	
	Practical English B	2後	1					1				3	
	フランス語 I A	1前		1								1	
	フランス語 I B	1後		1								1	
	フランス語 I C	1前		1								1	
	フランス語 I D	1後		1								1	
	中国語 I A	1前		1								1	
	中国語 I B	1後		1								1	
	中国語 I C	1前		1								1	
	中国語 I D	1後		1								1	
	韓国語 I A	1前		1								1	
	韓国語 I B	1後		1								1	
	韓国語 I C	1前		1								1	
	韓国語 I D	1後		1								1	
	小計(16科目)	-											
専門教育科目	教養教育科目	基礎演習A	1前	2			1	3	2				
		基礎演習B	1後	2			1	3	2				
		教育現場体験	1後	1			3		2			1	
		教育学演習A	3前	1			2	5	1				
		教育学演習B	3後	1			2	5	1				
		卒業研究	4通	4			3	5	2				
		スポーツと健康	1前	2									1
		小計(7科目)	-										
専門教育科目	教職コア科目	教職概論	1前	2			1						
		教育社会学	1前	1									1
		特別支援教育入門	1前	2					1				1
		教育方法の理論と実践	1前	2				1					
		教育原理	1後	2				1					
		学習・発達論	1後	2			1						
		教育の制度と経営	2前	2					1				
		教育相談の理論と方法	3・4後	2			1						
		幼児教育の計画と評価	1前		2			1					
		幼児理解の理論と方法	2・3後	2			1						
		教育課程の意義と編成	1前	2				1					
		道德教育の理論と方法	2・3前	2				1					
		総合的な学習の時間の指導法	3前	2			1						
		生徒指導の理論と方法	3・4前	2			1						
		特別活動の理論と方法	3・4前	2									1
		進路指導の理論と方法	3・4前	1									1
	小計(16科目)	-											

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	保育実習指導Ⅰ(保育所)	2後~3前	1			1						
	保育実習指導Ⅰ(施設)	2後~3前				1						
	保育実習指導Ⅱ	3通	1			1						
	保育実習指導Ⅲ	3通	1			1						
	保育実習Ⅰ(保育所)	2後~3前	2			1						
	保育実習Ⅰ(施設)	2後~3前	2			1						
	保育実習Ⅱ	3通	2			1						
	保育実習Ⅲ	3通	2			1						
	教育実習(幼)	3通	5			1						
	教育実習(小)	4通	5			1						
	教育実習(中・高)	4通	5			1						
	教育実習(高)	4通	3			1						
	教育実習(特支)	4通	3					1				
	教職実践演習(保・幼)	4後	2			1	2					
	教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
	教職実践演習(中・高)	4後	2			1	1					
	介護等体験	2通	2			1						
	学校観察実習	2通	1			1						
	海外教育実習	2・3後	1			1	1					
小計(19科目)	-											
教職発展科目	学校教育論	3後	1								1	
	生涯学習論	3後	1								1	
	社会制度論	3後	1								1	
	教育史	3後	1								1	
	教育評価論	4通	1			1						
	教育経営論	4前	2					1			1	
	教育法規	4前	1					1			1	
	実技研究(音楽)	4前	1			1					5	
	プログラミング教育論	4後	2					1				
	心身の発達と学習過程	4後	1								1	
小計(10科目)	-											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	保育実習指導Ⅰ(保育所)	2後~3前	1			1						
	保育実習指導Ⅰ(施設)	2後~3前	1			1						
	保育実習指導Ⅱ	3通	1			1						
	保育実習指導Ⅲ	3通	1			1						
	保育実習Ⅰ(保育所)	2後~3前	2			1						
	保育実習Ⅰ(施設)	2後~3前	2			1						
	保育実習Ⅱ	3通	2			1						
	保育実習Ⅲ	3通	2			1						
	教育実習(幼)	3通	5			1						
	教育実習(小)	4通	5			1						
	教育実習(中・高)	4通	5			1						
	教育実習(高)	4通	3			1						
	教育実習(特支)	4通	3					1				
	教職実践演習(保・幼)	4後	2			1	2					
	教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
	教職実践演習(中・高)	4後	2			1	1					
	介護等体験	2通	2			1						
	学校観察実習	2通	1			1						
	海外教育実習(未開講)	2・3後	1			1	1					
小計(19科目)	-											
教職発展科目	学校教育論	3後	1								1	
	生涯学習論	3後	1								1	
	社会制度論	3後	1								1	
	教育史	3後	1								1	
	教育評価論	4通	1			1						
	教育経営論	4前	2					1			1	
	教育法規	4前	1					1			1	
	実技研究(音楽)	4前	1			1					5	
	プログラミング教育論	4後	2					1				
	心身の発達と学習過程	4後	1								1	
小計(10科目)	-											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	保育実習指導 I (保育所)	2後~3前	1			1						
	保育実習指導 I (施設)	2後~3前	1			1						
	保育実習指導 II	3通	1			1						
	保育実習指導 III	3通	1			1						
	保育実習 I (保育所)	2後~3前	2			1						
	保育実習 I (施設)	2後~3前	2			1						
	保育実習 II	3通	2			1						
	保育実習 III	3通	2			1						
	教育実習(幼)	3通	5			1						
	教育実習(小)	4通	5			1						
	教育実習(中・高)	4通	5			1						
	教育実習(高)	4通	3			1						
	教育実習(特支)	4通	3					1				
	教職実践演習(保・幼)	4後	2			1	2					
	教職実践演習(小)	4後	2			1	1					
	教職実践演習(中・高)	4後	2			1	1					
	介護等体験	2通	2			1						
	学校観察実習	2通	1			1						
	海外教育実習	2・3後	1			1	1					
	小計(19科目)	-										
教職発展科目	学校教育論	3後	1								1	
	生涯学習論	3後	1								1	
	社会制度論	3後	1								1	
	教育史	3後	1								1	
	教育評価論	4通	1			1						
	教育経営論	4前	2					1			1	
	教育法規	4前	1					1			1	
	実技研究(音楽)	4前	1			1					5	
	プログラミング教育論	4後	2			1						
	心身の発達と学習過程	4後	1								1	
小計(10科目)	-											

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目 幼児教育専修科目	子どもの食と栄養	1前	2								1
	保育の心理学	1前	2		1						
	子ども家庭支援の心理学	1後	2		1						
	社会的養護 I	1後	2								1
	保育原理	1後	2		1						
	保育内容総論	2前	1		1						
	子ども家庭支援論	2前	2								1
	子ども家庭福祉	2前	2		1						
	保育者論	2前	2								1
	社会的養護 II	2後	1		1						
	障害児保育	2後	2		1						
	乳児保育 I	2後	2				1				
	乳児保育 II	3前	1				1				
	社会福祉	3前	2			1					
	子どもの保健	3前	2					1			
	子育て支援	3後	1		1						
	子どもの理解と援助	3後	1		1						
	子どもの健康と安全	4前	1					1			
	保育基本演習	2前	1			1					
	キリスト教保育	3後	2			1					
	音楽入門	1前	1			1					5
	音楽実技	1後	1			1					4
小計(22科目)	-										
幼児教育系列	子どもと健康	1後	1		1						
	子どもと環境	2後	1		1						
	子どもとことば	2後	1		1						
	子どもと人間関係	2後	1		1	1					
	保育内容(環境)	2前	1		1	1					
	保育内容(人間関係)	2後	1		1	1					
	保育内容(言葉)	3前	1								1
	保育内容(健康)	3前	1		1						
	保育内容(造形表現)	2前	1		1						
	保育内容(音楽表現)	2後	1			1					
	保育内容(身体表現)	2後	1		1						
	保育内容指導法	4前	2		1						
	美術表現	1後	2		1						
	音楽表現	2前	2			1					
	美術実技	2後	1		1						
幼児体育	3前	1		1							
小計(16科目)	-										

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目 幼児教育専修科目	子どもの食と栄養	1前	2								1
	保育の心理学	1前	2		1						
	子ども家庭支援の心理学	1後	2		1						
	社会的養護 I	1後	2								1
	保育原理	1後	2		1						
	保育内容総論	2前	1		1						
	子ども家庭支援論	2前	2								1
	子ども家庭福祉	2前	2		1						
	保育者論	2前	2								1
	社会的養護 II	2後	1		1						
	障害児保育	2後	2		1						
	乳児保育 I	2後	2					1			
	乳児保育 II	3前	1					1			
	社会福祉	3前	2			1					
	子どもの保健	3前	2						1		
	子育て支援	3後	1		1						
	子どもの理解と援助	3後	1		1						
	子どもの健康と安全	4前	1						1		
	保育基本演習	2前	1			1					
	キリスト教保育	3後	2			1					
	音楽入門	1前	1			1					5
	音楽実技	1後	1			1					4
小計(22科目)	-										
幼児教育系列	子どもと健康	1後	1		1						
	子どもと環境	2後	1		1						
	子どもとことば	2後	1		1						
	子どもと人間関係	2後	1		1	1					
	保育内容(環境)	2前	1		1	1					
	保育内容(人間関係)	2後	1		1	1					
	保育内容(言葉)	3前	1								1
	保育内容(健康)	3前	1		1						
	保育内容(造形表現)	2前	1		1						
	保育内容(音楽表現)	2後	1			1					
	保育内容(身体表現)	2後	1		1						
	保育内容指導法	4前	2		1						
	美術表現	1後	2		1						
	音楽表現	2前	2			1					
	美術実技	2後	1		1						
幼児体育	3前	1		1							
小計(16科目)	-										

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	保育教育系列	子どもの食と栄養	1前	2								1
		保育の心理学	1前	2		1						
		子ども家庭支援の心理学	1後	2		1						
		社会的養護 I	1後	2								1
		保育原理	1後	2		1						
		保育内容総論	2前	1		1						
		子ども家庭支援論	2前	2								1
		子ども家庭福祉	2前	2		1						
		保育者論	2前	2								1
		社会的養護 II	2後	1		1						
		障害児保育	2後	2		1						
		乳児保育 I	2後	2					1			
		乳児保育 II	3前	1					1			
		社会福祉	3前	2		1						
		子どもの保健	3前	2					1			
		子育て支援	3後	1		1						
		子どもの理解と援助	3後	1		1						
		子どもの健康と安全	4前	1					1			
		保育基本演習	2前	1				1				
		キリスト教保育	3後	2				1				
		音楽入門	1前	1				1				5
		音楽実技	1後	1				1				4
	小計(22科目)	-										
専門教育科目	幼児教育系列	子どもと健康	1後	1		1						
		子どもと環境	2後	1		1						
		子どもとことば	2後	1		1						
		子どもと人間関係	2後	1		1	1					
		保育内容(環境)	2前	1			1					
		保育内容(人間関係)	2後	1			1					
		保育内容(言葉)	3前	1								1
		保育内容(健康)	3前	1		1						
		保育内容(造形表現)	2前	1		1						
		保育内容(音楽表現)	2後	1			1					
		保育内容(身体表現)	2後	1		1						
		保育内容指導法	4前	2		1						
		美術表現	1後	2		1						
		音楽表現	2前	2			1					
		美術実技	2後	1		1						
		幼児体育	3前	1		1						
	小計(16科目)	-										

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育専修科目	小学算数	1・2後	1			1	1						
	小学生活	1・2後	1			1							
	小学理科	2前	1				1						
	小学国語	2・3前	1			1							
	図画工作	2・3前	1			1							
	児童体育	2前	1									1	
	小学社会	2後	1			1							
	児童英語	3前	1			2							
	児童音楽	3前	1				1						
	小学家庭	3前	1									1	
	算数科指導法	2・3後	2			1							
	国語科指導法	2・3後	2			1						1	
	生活科指導法	2・3後	2			1							
	理科指導法	2後	2				1						
	社会科指導法	3前	2			1							
	体育科指導法	3・4前	2									1	
	図工科指導法	3後	2			1							
	英語科指導法	3後	2			1							
	音楽科指導法	3後	2									1	
	家庭科指導法	4前	2									1	
	楽しい理科実験	1後	1				1						
	小計(21科目)	-											
	異文化理解	1後	2			1							
	Reading and Writing A	2前	1			1							
	Reading and Writing B	2後	1			1							
	Speaking and Listening A	2前	1					1					
	Speaking and Listening B	2後	1					1					
	異文化理解教育A	2前	2			1							
	異文化理解教育B	2後	2					1					
	英語学概論A	2前	2			1							
	英語学概論B	2後	2			1							
	英語教師のための英文法A	2前	2			1							
	英語教師のための英文法B	2後	2			1							
	第二言語習得と英語教育	2前	2			1							
	英語音声学A	3前	2									1	
	英語音声学B	3後	2									1	
	英語コミュニケーション論	3後	2			1							
	英語科教育法Ⅰ	3前	2			1							
	英語科教育法Ⅱ	3後	2			1							
	英語科教育法Ⅲ	4前	2			1							
	英語文学の世界	3前	2			1						1	
メディアの英語	2前	2									1		
英語コミュニケーション概論A	2前	2									1		
英語コミュニケーション概論B	2後	2									1		
早期英語教育基礎	2後	2			1								
早期英語教育応用A	3前	2			1								
早期英語教育応用B	3後	2					1						
Discussion and Presentation A	3前	2					1						
Discussion and Presentation B	3後	2					1						
Advanced Reading A	4前	2			1								
Advanced Reading B	4後	2			1								
Academic Writing A	4前	2			1								
Academic Writing B	4後	2			1								
小計(31科目)	-												

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	視覚聴覚障害教育総論	1後	2					1			2
	障害児支援論	1後	2			1					
	特別支援教育原論	1後	2					1			
	重度重複障害教育総論	1後	2					1			
	肢体不自由児等の教育と指導	2前	2					1			
	知的障害児等の教育と指導	2前	2					1			
	病弱児等の教育と指導	2前	2			1					
	健康発達臨床心理学	2後	2			1					
	発達支援・発達保障論	2後	2					2			
	発達障害教育総論	2後	1								1
	知的障害児等の発達と診断	3前	2					2			1
	肢体不自由児等の保健と指導	3前	2					1			1
	病弱児等の保健と指導	3前	2			1					1
	発達障害の認知心理学	3前	2			1					
特別支援実践演習A	3前	1			1		2				
特別支援実践演習B	3後	1			1		2				
特別支援教育と共生社会	1後	2			1						
特別支援教育実践論	3後	2			1						
小計(18科目)	-										
合計(208科目)	-										

卒業要件及び履修方法

学生は、次の各号に定める科目区分について、当該各号に定める単位数を履修し、124単位以上を修得しなければならない。

(1) 全学共通教育科目
・松蔭とキリスト教系列4単位、情報系列2単位、教養系列2単位の必修を含み、合計12単位以上を修得しなければならない。

(2) 外国語科目
・英語6単位以上

(3) 専門教育科目
・必修28単位に加え、選択科目から64単位以上、合計92単位以上を修得しなければならない。

・幼児教育専修を修了しようとする者は、選択科目の単位取得にあたり、幼児教育系列の16科目19単位を必ず含むこと。

・学校教育専修を修了しようとする者は、選択科目の単位取得にあたり、小学校教育系列の「楽しい理科実験」を除く20科目30単位を必ず含むこと。

(4) 前項(1)(2)(3)のほかに、全学共通科目、外国語科目、専門教育科目より任意に14単位以上を修得しなければならない。

(5) その他
・他学部他学科の全学共通科目を修得した場合は、該当する系列の単位として認定することができる。

・他学部他学科の専門教育科目を修得した場合は、卒業必要単位数として認定することができる。

・他大学等の教養教育系科目を修得した場合は、本学全学共通科目のいずれか該当する系列の単位として認定することができる。

(履修科目の登録の上限:48 単位)

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	視覚障害教育総論	1後	1								1
	聴覚障害教育総論	1後	1								1
	個別的教育支援計画論	1後	2			1					
	特別支援教育原論	1後	2						1		1
	重度重複障害教育総論	1後	2						1		
	肢体不自由児の教育と指導	2前	2						1		
	知的障害児の指導法	2前	2								2
	知的障害児の指導法	2前	2								1
	病弱児の教育と指導	2前	2			1					1
	病弱児の心理・生理・病理Ⅰ	2後	2			1					1
	知的障害児教育論	2後	2						1		1
	発達障害教育総論	2後	1								1
	知的障害児の心理・生理・病理	3前	2						1		2
	肢体不自由児の心理・生理・病理	3前	2						1		1
病弱児の心理・生理・病理Ⅱ	3前	2			1					1	
発達障害の心理・生理・病理	3前	2			1					1	
特別支援実践演習A	3前	1			1		2				
特別支援実践演習B	3後	1			1		2				
特別支援教育と共生社会	1後	2			1						
特別支援教育実践論	3後	2			1						
小計(19科目)	-										
合計(209科目)	-										

卒業要件及び履修方法

学生は、次の各号に定める科目区分について、当該各号に定める単位数を履修し、124単位以上を修得しなければならない。

(1) 全学共通教育科目
・松蔭とキリスト教系列4単位、情報系列2単位、教養系列2単位の必修を含み、合計12単位以上を修得しなければならない。

(2) 外国語科目
・英語6単位以上

(3) 専門教育科目
・必修28単位に加え、選択科目から64単位以上、合計92単位以上を修得しなければならない。

・幼児教育専修を修了しようとする者は、選択科目の単位取得にあたり、幼児教育系列の16科目19単位を必ず含むこと。

・学校教育専修を修了しようとする者は、選択科目の単位取得にあたり、小学校教育系列の「楽しい理科実験」を除く20科目30単位を必ず含むこと。

(4) 前項(1)(2)(3)のほかに、全学共通科目、外国語科目、専門教育科目より任意に14単位以上を修得しなければならない。

(5) その他
・他学部他学科の全学共通科目を修得した場合は、該当する系列の単位として認定することができる。

・他学部他学科の専門教育科目を修得した場合は、卒業必要単位数として認定することができる。

・他大学等の教養教育系科目を修得した場合は、本学全学共通科目のいずれか該当する系列の単位として認定することができる。

(履修科目の登録の上限:48 単位)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	視覚障害教育総論	1後	1									1
	聴覚障害教育総論	1後	1									1
	個別の教育支援計画論	1後	2			1						
	特別支援教育原論	1後	2					1				1
	重度重複障害教育総論	1後	2					1				
	肢体不自由児の教育と指導	2前	2					1				
	知的障害児の指導法	2前	2									2
	病弱児の教育と指導	2前	2			1						1
	病弱児の心理・生理・病理Ⅰ	2後	2			1						1
	知的障害児教育論	2後	2					1				1
	発達障害教育総論	2後	1									1
	知的障害児の心理・生理・病理	3前	2					1				2
	肢体不自由児の心理・生理・病理	3前	2					1				1
	病弱児の心理・生理・病理Ⅱ	3前	2			1						1
	発達障害の心理・生理・病理	3前	2			1						1
	特別支援実践演習A	3前	1			1			2			
	特別支援実践演習B	3後	1			1			2			
	特別支援教育と共生社会	1後	2			1						
	特別支援教育実践論	3後	2			1						
小計(19科目)	-											
合計(209科目)	-											

卒業要件及び履修方法

学生は、次の各号に定める科目区分について、当該各号に定める単位数を履修し、124単位以上を修得しなければならない。

(1) 全学共通教育科目
 ・松蔭とキリスト教系列4単位、情報系列2単位、教養系列2単位の必修を含み、合計12単位以上を修得しなければならない。

(2) 外国語科目
 ・英語6単位以上

(3) 専門教育科目
 ・必修28単位に加え、選択科目から64単位以上、合計92単位以上を修得しなければならない。

・幼児教育専修を修了しようとする者は、選択科目の単位取得にあたり、幼児教育系列の16科目19単位を必ず含むこと。

・学校教育専修を修了しようとする者は、選択科目の単位取得にあたり、小学校教育系列の「楽しい理科実験」を除く20科目30単位を必ず含むこと。

(4) 前項(1)(2)(3)のほか、全学共通科目、外国語科目、専門教育科目より任意に14単位以上を修得しなければならない。

(5) その他
 ・他学部他学科の全学共通科目を修得した場合は、該当する系列の単位として認定することができる。

・他学部他学科の専門教育科目を修得した場合は、卒業必要単位数として認定することができる。

・他大学等の教養教育系科目を修得した場合は、本学全学共通科目のいずれか該当する系列の単位として認定することができる。

(履修科目の登録の上限:48 単位)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務実習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

1. 内田 祐貴講師の准教授昇任により、専任教員等の配置を次のとおり変更。
 - ・「基礎演習A」及び「基礎演習B」を「准教授2」から「准教授3」に変更。
 - ・「教育学演習A」及び「教育学演習B」および「卒業研究」を「准教授4」から「准教授5」に変更。
 - ・「プログラミング教育論」、「小学理科」、「理科指導法」及び「楽しい理科実験」を「准教授0」から「准教授1」に変更。
2. 山内 啓子准教授の教授昇任により、専任教員等の配置を次のとおり変更。
 - ・「児童英語」を「教授1」から「教授2」に変更。
 - ・「異文化理解」、「Reading and Writing A」、「Reading and Writing B」、「異文化理解教育 A」、「英語文学の世界」、「早期英語教育基礎」、「早期英語教育応用 A」、「Academic Writing A」及び「Academic Writing B」を「教授0」から「教授1」に変更。
3. 教職課程認定申請指摘事項の対応により、科目に含む内容変更を行い、科目名称の変更と担当教員の変更を行った。
 - ・「特別支援教育入門」の兼任・兼担の配置を変更。
 - ・「視覚聴覚障害教育総論」を「視覚障害教育総論」と「聴覚障害教育総論」の2科目に変更(1科目廃止、2科目新設)。また、それぞれ専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」へ変更。
 - ・「障害児支援論」から「個別の教育支援計画論」に名称変更。
 - ・「特別支援教育原論」の兼任・兼担の配置を変更。
 - ・「肢体不自由児等の教育と指導」から「肢体不自由児の教育と指導」に名称変更。
 - ・「知的障害児等の教育と指導」から「知的障害児の指導法」に名称変更。また、専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」へ変更。
 - ・「病弱児等の教育と指導」から「病弱児の教育と指導」に名称変更。また、兼任・兼任教員の配置を名称変更。
 - ・「健康発達臨床心理学」から「病弱児の心理・生理・病理Ⅰ」に名称変更。また、兼任・兼任教員の配置を変更。
 - ・「発達支援・発達保障論」から「知的障害児教育論」に名称変更。また、専任教員および兼任・兼任教員の配置を変更。
 - ・「知的障害児等の発達と診断」から「知的障害児の心理・生理・病理」に名称変更。また、専任教員および兼任・兼任教員の配置を変更。
 - ・「肢体不自由児等の保健と指導」から「肢体不自由児の心理・生理・病理」に名称変更。
 - ・「病弱児等の保健と指導」から「病弱児の心理・生理・病理Ⅱ」に名称変更。
 - ・「発達障害の認知心理学」から「発達障害の心理・生理・病理」に名称変更。また、兼任・兼任教員の配置を変更。

【令和2年度】

1. 科目内容の充実を図り、オムニバス形式の担当者の追加を行った。
 - ・「特別支援教育入門」
2. 授業担当者の退任に伴い、開講時期の変更を行った。
 - ・「こころの健康」、「女性と法」

【令和3年度】

--

【令和4年度】

--

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24	184	0	208	24	185	0	209	
				[0]	[1]	[]	[1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	海外教育実習	1	2・3	専門	選択	夏期の実施を予定でしたが、コロナ感染拡大の予防の観点から不開講とした。代替措置はなし。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生のリスクを排除することは難しいため、コロナ感染拡大の予防の観点から、不開講が望ましいと判断した。学生への周知方法としては、年度初めのガイダンス等で全学生に周知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{1}{208} = \boxed{0.48} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地面積等 記載ミス 「平成31年度」		
	校舎敷地	54,121㎡ 60,370㎡	0㎡	0㎡	54,121㎡ 60,370㎡			
	運動場用地	24,289㎡ 18,040㎡	0㎡	0㎡	24,289㎡ 18,040㎡			
	小 計	78,410㎡ 82,756㎡	0㎡	0㎡	78,410㎡ 82,756㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	78,410㎡ 82,756㎡	0㎡	0㎡	78,410㎡ 82,756㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	R2.8. 校舎一部取壊し 「平成31年度」		
		37,713㎡ 38,294㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	37,713㎡ 38,294㎡ (0㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	42室	30室	55室	5室 (補助職員 2人)	4室 (補助職員 2人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	教育学部 教育学科			18 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・視聴覚教材・機 械・器具購入による冊 数・点数の増加(2)
	教育学部 教育学科	41,626 [12,624] (41,532 [12,640]) (41,113 [12,623])	40 [3] (40 [3])	0 [0] (0 [0])	867 (948) (901)	50 ()	()	
	計	41,626 [12,624] (41,532 [12,640]) (41,113 [12,623])	40 [3] (40 [3])	0 [0] (0 [0])	867 (948) (901)	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	4,154㎡		407		372,500冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	4,042㎡		ゴルフ練習場		テニスコート 9面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	1,000千円	300千円	300千円
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,388千円	1,188千円	1,188千円	1,188千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金 資産運用収入 雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		神戸松蔭女子学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
人間科学部	4	290	-	1000	-	1.01	-	平成16年度	兵庫県神戸市灘区 篠原伯母野山町 1-2-1	
心理学科	4	70	-	280	学士 (心理学)	1.06	-	平成16年度	同上	
都市生活学科	4	100	-	300	学士 (人間科学)	1.02	-	平成29年度	同上	
食物栄養学科	4	60	-	180	学士 (人間科学)	0.98	-	平成29年度	同上	
子ども発達学科	4	-	-	-	学士 (人間科学)	-	-	平成20年度	同上	平成31年度 学生募集停止
ファッション・ハウジングデザイン学科	4	60	-	240	学士 (人間科学)	0.97	-	平成20年度	同上	
生活学科	4	-	-	-	学士 (人間科学)	-	-	平成17年度	同上	平成29年度 学生募集停止
文学部	4	160	-	710	-	1.04	-	昭和41年度	兵庫県神戸市灘区 篠原伯母野山町 1-2-1	
英語学科	4	100	-	460	学士 (文学)	1.06	平成29年度 平成31年度	平成23年度	同上	平成29年度定員変更(△30) 平成31年度定員変更(△10)
日本語日本文化学科	4	60	-	250	学士 (文学)	1.00	平成29年度	平成23年度	同上	平成29年度定員変更(△10)
総合文芸学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	平成12年度	同上	平成31年度 学生募集停止
教育学部	4	120	-	120	-	0.90	-	平成31年度	兵庫県神戸市灘区 篠原伯母野山町 1-2-1	
教育学科	4	120	-	120	学士 (教育学)	0.90	-	平成31年度	同上	
大学全体	4	570	-	1830	-	-	-	-	-	
大学の名称		神戸松蔭女子学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
文学研究科	-	22	-	46	-	0.25	-	平成12年度	兵庫県神戸市灘区 篠原伯母野山町 1-2-1	
英語学専攻	2	5	-	10	修士 (英語学)	0.10	-	平成12年度	同上	
国語国文学専攻	2	5	-	10	修士 (国語国文学)	0.20	-	平成12年度	同上	
心理学専攻	2	10	-	20	修士 (心理学)	0.55	-	平成16年度	同上	
言語科学専攻	3	2	-	6	博士 (言語科学)	0.17	-	平成14年度	同上	
大学院全体	-	22	-	46	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】		【令和4年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	秋山 麗子 <平成31年4月> 修士(教育学)	秋山 麗子 <平成31年4月> 修士(教育学)	秋山 麗子 <平成31年4月> 修士(教育学)	秋山 麗子 <平成31年4月> 修士(教育学)				
		総合的な学習の時間の指導法 子どもと人間関係 小学生生活 生活科指導法	総合的な学習の時間の指導法 子どもと人間関係 小学生生活 生活科指導法	総合的な学習の時間の指導法 子どもと人間関係 小学生生活 生活科指導法	総合的な学習の時間の指導法 子どもと人間関係 小学生生活 生活科指導法				
専	教授	井上 知子 <平成31年4月> 教育学士	井上 知子 <平成31年4月> 教育学士	井上 知子 <平成31年4月> 教育学士	井上 知子 <平成31年4月> 教育学士				
		教育現場体験 幼児理解の理論と方法 教育実習(幼) 教職実践演習(保・幼) 保育内容総論 子どもの理解と援助 保育内容指導法	教育現場体験 幼児理解の理論と方法 教育実習(幼) 教職実践演習(保・幼) 保育内容総論 子どもの理解と援助 保育内容指導法	教育現場体験 幼児理解の理論と方法 教育実習(幼) 教職実践演習(保・幼) 保育内容総論 子どもの理解と援助 保育内容指導法	教育現場体験 幼児理解の理論と方法 教育実習(幼) 教職実践演習(保・幼) 保育内容総論 子どもの理解と援助 保育内容指導法				
専	教授	大石 正廣 <平成31年4月> 修士(学校教育学)	大石 正廣 <平成31年4月> 修士(学校教育学)	大石 正廣 <平成31年4月> 修士(学校教育学)	大石 正廣 <平成31年4月> 修士(学校教育学)				
		教職概論 子どもとことば 小学国語 国語科指導法	教職概論 子どもとことば 小学国語 国語科指導法	教職概論 子どもとことば 小学国語 国語科指導法	教職概論 子どもとことば 小学国語 国語科指導法				
専	教授	奥 美佐子 <平成31年4月> 学術学士	奥 美佐子 <平成31年4月> 学術学士	奥 美佐子 <平成31年4月> 学術学士	奥 美佐子 <平成31年4月> 学術学士				
		保育内容(造形表現) 美術表現 美術実技 図画工作 図工科指導法	保育内容(造形表現) 美術表現 美術実技 図画工作 図工科指導法	保育内容(造形表現) 美術表現 美術実技 図画工作 図工科指導法	保育内容(造形表現) 美術表現 美術実技 図画工作 図工科指導法				
専	教授	尾上 昭 <平成31年4月> 文学士	尾上 昭 <平成31年4月> 文学士	尾上 昭 <平成31年4月> 文学士	尾上 昭 <平成31年4月> 文学士				
		教職実践演習(小) 小学算数 算数科指導法	教職実践演習(小) 小学算数 算数科指導法	教職実践演習(小) 小学算数 算数科指導法	教職実践演習(小) 小学算数 算数科指導法				
専	教授	柏本 吉章 <平成31年4月> 文学修士	柏本 吉章 <平成31年4月> 文学修士	柏本 吉章 <平成31年4月> 文学修士	柏本 吉章 <平成31年4月> 文学修士				
		基礎演習A 基礎演習B 英語学概論A 英語学概論B 英語教師のための英文法A 英語教師のための英文法B 英語コミュニケーション論 Advanced Reading A Advanced Reading B							
専	教授	倉 真智子 <平成31年4月> 修士(学術)	倉 真智子 <平成31年4月> 修士(学術)	倉 真智子 <平成31年4月> 修士(学術)	倉 真智子 <平成31年4月> 修士(学術)				
		教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 子どもと健康 保育内容(健康) 保育内容(身体表現) 幼児体育	教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 子どもと健康 保育内容(健康) 保育内容(身体表現) 幼児体育	教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 子どもと健康 保育内容(健康) 保育内容(身体表現) 幼児体育	教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 子どもと健康 保育内容(健康) 保育内容(身体表現) 幼児体育				
専	教授	作井 恵子 <平成31年4月> Doctor of Philosophy, with a specialization Language Teaching and Learning	作井 恵子 <平成31年4月> Doctor of Philosophy, with a specialization Language Teaching and Learning	作井 恵子 <平成31年4月> Doctor of Philosophy, with a specialization Language Teaching and Learning	作井 恵子 <平成31年4月> Doctor of Philosophy, with a specialization Language Teaching and Learning				
		教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育実習(中・高) 教育実習(高) 教職実践演習(中・高) 児童英語 英語科指導法 第二言語習得と英語教育 英語科教育法I 英語科教育法II 英語科教育法III	教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育実習(中・高) 教育実習(高) 教職実践演習(中・高) 児童英語 英語科指導法 第二言語習得と英語教育 英語科教育法I 英語科教育法II 英語科教育法III	教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育実習(中・高) 教育実習(高) 教職実践演習(中・高) 児童英語 英語科指導法 第二言語習得と英語教育 英語科教育法I 英語科教育法II 英語科教育法III	教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育実習(中・高) 教育実習(高) 教職実践演習(中・高) 児童英語 英語科指導法 第二言語習得と英語教育 英語科教育法I 英語科教育法II 英語科教育法III				

専	准教授	奥村 正子 <平成31年4月> 学術学修士	専	准教授	奥村 正子 <平成31年4月> 学術学修士	専	准教授	奥村 正子 <平成31年4月> 学術学修士				
		教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 実技研究(音楽) キリスト教保育 音楽入門 音楽実技 保育内容(音楽表現) 音楽表現 児童音楽			教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 実技研究(音楽) キリスト教保育 音楽入門 音楽実技 保育内容(音楽表現) 音楽表現 児童音楽			教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 実技研究(音楽) キリスト教保育 音楽入門 音楽実技 保育内容(音楽表現) 音楽表現 児童音楽				
専	准教授	林 悠子 <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	専	准教授	林 悠子 <令和2年4月> 修士(社会福祉学)	専	准教授	林 悠子 <令和2年4月> 修士(社会福祉学)				
		教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 保育実習指導I(保育所) 保育実習指導II(保育所) 保育実習I(保育所) 保育実習II(保育所) 教職実践演習(保・幼) 海外教育実習 保育基本演習 子どもと人間関係 保育内容(環境) 保育内容(人間関係)			教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 保育実習指導I(保育所) 保育実習指導II(保育所) 保育実習I(保育所) 保育実習II(保育所) 教職実践演習(保・幼) 海外教育実習 保育基本演習 子どもと人間関係 保育内容(環境) 保育内容(人間関係)			教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 保育実習指導I(保育所) 保育実習指導II(保育所) 保育実習I(保育所) 保育実習II(保育所) 教職実践演習(保・幼) 海外教育実習 保育基本演習 子どもと人間関係 保育内容(環境) 保育内容(人間関係)				
専	准教授	松岡 靖 <平成31年4月> 修士(教育学)	専	准教授	松岡 靖 <平成31年4月> 修士(教育学)	専	准教授	松岡 靖 <平成31年4月> 修士(教育学)				
		文化人類学 基礎演習A 基礎演習B 教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育原理 道徳教育の理論と方法 教職実践演習(保・幼) 教職実践演習(小) 教職実践演習(中・高)			文化人類学 基礎演習A 基礎演習B 教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育原理 道徳教育の理論と方法 教職実践演習(保・幼) 教職実践演習(小) 教職実践演習(中・高)			文化人類学 基礎演習A 基礎演習B 教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育原理 道徳教育の理論と方法 教職実践演習(保・幼) 教職実践演習(小) 教職実践演習(中・高)				
専	准教授	山内 啓子 <平成31年4月> 修士(教育学)	専	教授	山内 啓子 <平成31年4月> 修士(教育学)	専	教授	山内 啓子 <平成31年4月> 修士(教育学)				
		児童英語 異文化理解 Reading and Writing A Reading and Writing B 異文化理解教育A 異文化理解教育B 異文化理解教育C 異文化理解教育D 異文化理解教育E 異文化理解教育F 異文化理解教育G 異文化理解教育H 異文化理解教育I 異文化理解教育J 異文化理解教育K 異文化理解教育L 異文化理解教育M 異文化理解教育N 異文化理解教育O 異文化理解教育P 異文化理解教育Q 異文化理解教育R 異文化理解教育S 異文化理解教育T 異文化理解教育U 異文化理解教育V 異文化理解教育W 異文化理解教育X 異文化理解教育Y 異文化理解教育Z			児童英語 異文化理解 Reading and Writing A Reading and Writing B 異文化理解教育A 異文化理解教育B 異文化理解教育C 異文化理解教育D 異文化理解教育E 異文化理解教育F 異文化理解教育G 異文化理解教育H 異文化理解教育I 異文化理解教育J 異文化理解教育K 異文化理解教育L 異文化理解教育M 異文化理解教育N 異文化理解教育O 異文化理解教育P 異文化理解教育Q 異文化理解教育R 異文化理解教育S 異文化理解教育T 異文化理解教育U 異文化理解教育V 異文化理解教育W 異文化理解教育X 異文化理解教育Y 異文化理解教育Z			児童英語 異文化理解 Reading and Writing A Reading and Writing B 異文化理解教育A 異文化理解教育B 異文化理解教育C 異文化理解教育D 異文化理解教育E 異文化理解教育F 異文化理解教育G 異文化理解教育H 異文化理解教育I 異文化理解教育J 異文化理解教育K 異文化理解教育L 異文化理解教育M 異文化理解教育N 異文化理解教育O 異文化理解教育P 異文化理解教育Q 異文化理解教育R 異文化理解教育S 異文化理解教育T 異文化理解教育U 異文化理解教育V 異文化理解教育W 異文化理解教育X 異文化理解教育Y 異文化理解教育Z				
専	講師	内田 祐貴 <平成31年4月> 博士(理学)	専	准教授	内田 祐貴 <平成31年4月> 博士(理学)	専	准教授	内田 祐貴 <平成31年4月> 博士(理学)				
		基礎演習A 基礎演習B 教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 プログラミング教育論 小学理科 理科指導法 楽しい理科実験			基礎演習A 基礎演習B 教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 プログラミング教育論 小学理科 理科指導法 楽しい理科実験			基礎演習A 基礎演習B 教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 プログラミング教育論 小学理科 理科指導法 楽しい理科実験				
専	講師	垂髪 あかり <平成31年4月> 修士(学校教育学)	専	講師	垂髪 あかり <平成31年4月> 修士(学校教育学)	専	講師	垂髪 あかり <平成31年4月> 修士(学校教育学)				
		乳児保育I 乳児保育II 子どもの保健と安全 重度重複障害教育総論 肢体不自由児等の教育と指導 発達支援・発達保障論 知的障害児等の発達と診断 肢体不自由児等の保健と指導 特別支援実践演習A 特別支援実践演習B			乳児保育I 乳児保育II 子どもの保健と安全 重度重複障害教育総論 肢体不自由児等の教育と指導 発達支援・発達保障論 知的障害児等の発達と診断 肢体不自由児等の保健と指導 特別支援実践演習A 特別支援実践演習B			乳児保育I 乳児保育II 子どもの保健と安全 重度重複障害教育総論 肢体不自由児等の教育と指導 発達支援・発達保障論 知的障害児等の発達と診断 肢体不自由児等の保健と指導 特別支援実践演習A 特別支援実践演習B				
			兼任	講師	渡部 昭男 <平成31年4月> 教育学修士	兼任	講師	渡部 昭男 <平成31年4月> 教育学修士				
					知的障害児教育論			知的障害児教育論				
専	講師	郭 暁博 <平成31年4月> 修士(教育学)	専	講師	郭 暁博 <平成31年4月> 修士(教育学)	専	講師	郭 暁博 <平成31年4月> 修士(教育学)				
		基礎演習A 基礎演習B 教育現場体験 教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育の制度と経営 教育経営論 教育法規			基礎演習A 基礎演習B 教育現場体験 教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育の制度と経営 教育経営論 教育法規			基礎演習A 基礎演習B 教育現場体験 教育学演習A 教育学演習B 卒業研究 教育の制度と経営 教育経営論 教育法規				

兼任	教授	水田 時男 ＜平成31年4月＞ 教育学士 教育現場体験	兼任	教授	水田 時男 ＜平成31年4月＞ 教育学士 教育現場体験	兼任	教授	水田 時男 ＜平成31年4月＞ 教育学士 教育現場体験				
兼任	准教授	佐藤 友亮 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） スポーツ実習	兼任	准教授	佐藤 友亮 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） スポーツ実習	兼任	教授	佐藤 友亮 ＜平成31年4月＞ 博士（医学） スポーツ実習				
兼任	准教授	長谷川 誠 ＜平成31年4月＞ 博士（教育学） 教育社会学 特別活動の理論と方法 進路指導の理論と方法	兼任	准教授	長谷川 誠 ＜平成31年4月＞ 博士（教育学） 教育社会学 特別活動の理論と方法 進路指導の理論と方法	兼任	准教授	長谷川 誠 ＜平成31年4月＞ 博士（教育学） 教育社会学 特別活動の理論と方法 進路指導の理論と方法				
兼任	准教授	古家 伸一 ＜平成31年4月＞ 博士（工学） 情報リテラシーA 情報リテラシーB				兼任	准教授	古家 伸一 ＜令和2年4月＞ 博士（工学） 情報リテラシーA 情報リテラシーB				
			兼任	教授	稲澤 弘志 ＜平成31年4月＞ 博士（工学） 情報リテラシーA 情報リテラシーB							
兼任	講師	奥井 一幾 ＜令和3年4月＞ 博士（学校教育学） 小学家庭 家庭科指導法	兼任	講師	奥井 一幾 ＜令和3年4月＞ 博士（学校教育学） 小学家庭 家庭科指導法	兼任	准教授	奥井 一幾 ＜令和3年4月＞ 博士（学校教育学） 小学家庭 家庭科指導法				
兼任	講師	P. Spaelti ＜令和3年4月＞ Ph. D. 英語音声学A 英語音声学B	兼任	講師	P. Spaelti ＜令和3年4月＞ Ph. D. 英語音声学A 英語音声学B	兼任	講師	P. Spaelti ＜令和3年4月＞ Ph. D. 英語音声学A 英語音声学B				
兼任	講師	西川 純司 ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 現代社会とメディア	兼任	准教授	西川 純司 ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 現代社会とメディア	兼任	准教授	西川 純司 ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 現代社会とメディア				
兼任	講師	丸山 果織 ＜令和2年4月＞ 博士（学術） 国語科指導法	兼任	講師	丸山 果織 ＜令和2年4月＞ 博士（学術） 国語科指導法	兼任	准教授	丸山 果織 ＜令和2年4月＞ 博士（学術） 国語科指導法				
兼任	講師	木原 桂二 ＜平成31年4月＞ 博士（神学） キリスト教の基礎	兼任	講師	木原 桂二 ＜平成31年4月＞ 博士（神学） キリスト教の基礎							
兼任	講師	松平 功 ＜令和2年4月＞ Master of Arts in Biblical Literature キリスト教思想 現代のキリスト教 キリスト教と諸宗教 キリスト教の歴史										
			兼任	教授	木鎌 耕一郎 ＜平成31年4月＞ 修士（文学） キリスト教思想 現代のキリスト教 キリスト教と諸宗教 キリスト教の歴史	兼任	教授	木鎌 耕一郎 ＜平成31年4月＞ 修士（文学） キリスト教の基礎 キリスト教思想 現代のキリスト教 キリスト教と諸宗教 キリスト教の歴史				
兼任	講師	岩井 謙太郎 ＜令和2年4月＞ 修士（文学） キリスト教と文化	兼任	講師	岩井 謙太郎 ＜令和2年4月＞ 修士（文学） キリスト教と文化	兼任	講師	岩井 謙太郎 ＜令和2年4月＞ 修士（文学） キリスト教と文化				
兼任	講師	岡田 裕子 ＜平成31年4月＞ 修士（国語国文学） 伝わる文章A 伝わる文章B	兼任	講師	岡田 裕子 ＜平成31年4月＞ 修士（国語国文学） 伝わる文章A 伝わる文章B	兼任	講師	岡田 裕子 ＜平成31年4月＞ 修士（国語国文学） 伝わる文章A 伝わる文章B				

兼任	講師	野村 和代 <平成31年4月> 修士(教育学)	野村 和代 <平成31年4月> 修士(教育学)	野村 和代 <平成31年4月> 修士(教育学)					
		伝える文章A 伝える文章B	伝える文章A 伝える文章B	伝える文章A 伝える文章B					
兼任	講師	吉川 紀子 <平成31年4月> 文学士	吉川 紀子 <平成31年4月> 文学士	吉川 紀子 <平成31年4月> 文学士					
		コミュニケーション・スキル	コミュニケーション・スキル	コミュニケーション・スキル					
兼任	講師	尾形 文 <令和2年4月> 修士(文学)	尾形 文 <令和2年4月> 修士(文学)	尾形 文 <令和2年4月> 修士(文学)					
		伝える話しことば	伝える話しことば	伝える話しことば					
兼任	講師	李 芝映 <平成31年4月> 博士(教育学)	李 芝映 <平成31年4月> 博士(教育学)	李 芝映 <平成31年4月> 博士(教育学)					
		日本の歴史	日本の歴史	日本の歴史					
兼任	講師	坂元 仁 <平成31年4月> 博士(工学)	坂元 仁 <平成31年4月> 博士(工学)	坂元 仁 <平成31年4月> 博士(工学)					
		地球環境と人間	地球環境と人間	地球環境と人間					
兼任	講師	原 正之 <平成31年4月> 理学博士	原 正之 <平成31年4月> 理学博士	原 正之 <平成31年4月> 理学博士					
		くらしと医療	くらしと医療	くらしと医療					
兼任	講師	小林 北斗 <平成31年4月> 博士(医学)							
		こころの健康							
			坂本 真佐哉 <平成31年4月> 学士						
			こころの健康						
				梅野 智美 <令和2年4月> 修士(心理学)					
				こころの健康					
兼任	講師	中原 朝子 <平成31年4月> 博士(学術)	中原 朝子 <平成31年4月> 博士(学術)						
		ジェンダー論入門	ジェンダー論入門						
				松並 知子 <令和2年4月> 博士(書語文化学)					
				ジェンダー論入門					
兼任	講師	津久井 茂樹 <平成31年4月> 博士(工学)	津久井 茂樹 <平成31年4月> 博士(工学)	津久井 茂樹 <平成31年4月> 博士(工学)					
		くらしの中の統計学	くらしの中の統計学	くらしの中の統計学					
兼任	講師	濱崎 雅孝 <平成31年4月> 修士(文学)	濱崎 雅孝 <平成31年4月> 修士(文学)	濱崎 雅孝 <平成31年4月> 修士(文学)					
		現代の倫理	現代の倫理	現代の倫理					
兼任	講師	松下 宏子 <平成31年4月> 修士(文学)	松下 宏子 <平成31年4月> 修士(文学)	松下 宏子 <平成31年4月> 修士(文学)					
		児童文学	児童文学	児童文学					

兼任	講師	尾崎 秀夫 <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	尾崎 秀夫 <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	講師	尾崎 秀夫 <平成31年4月> 博士(文学)							
		世界の歴史			世界の歴史			世界の歴史							
兼任	講師	奥西 達也 <平成31年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	奥西 達也 <平成31年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	奥西 達也 <平成31年4月> 修士(経済学)							
		現代社会と政治 現代社会と経済			現代社会と政治 現代社会と経済			現代社会と政治 現代社会と経済							
兼任	講師	海道 俊明 <平成31年4月> 法務博士(専門職)	兼任	講師	海道 俊明 <平成31年4月> 法務博士(専門職)	兼任	講師	海道 俊明 <平成31年4月> 法務博士(専門職)							
		女性と法 くらしと憲法			女性と法 くらしと憲法			女性と法 くらしと憲法							
兼任	講師	板谷 昭彦 <平成31年4月> 体育学士	兼任	講師	板谷 昭彦 <平成31年4月> 体育学士	兼任	講師	板谷 昭彦 <平成31年4月> 体育学士							
		スポーツ実習			スポーツ実習			スポーツ実習							
兼任	講師	酒谷 友香子 <平成31年4月> 体育学士	兼任	講師	酒谷 友香子 <平成31年4月> 体育学士	兼任	講師	酒谷 友香子 <平成31年4月> 体育学士							
		スポーツ実習			スポーツ実習			スポーツ実習							
兼任	講師	前田 正登 <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	前田 正登 <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	前田 正登 <平成31年4月> 博士(学術)							
		スポーツ実習 児童体育 体育科指導法			スポーツ実習 児童体育 体育科指導法			スポーツ実習 児童体育 体育科指導法							
兼任	講師	上里 友子 <令和元年4月> Master of Arts	兼任	講師	上里 友子 <令和元年4月> Master of Arts	兼任	講師	上里 友子 <令和元年4月> Master of Arts							
		General English A General English B			General English A General English B			General English A General English B							
兼任	講師	西條 さゆみ <平成31年4月> 博士(言語文化学)	兼任	講師	西條 さゆみ <平成31年4月> 博士(言語文化学)	兼任	講師	西條 さゆみ <平成31年4月> 博士(言語文化学)							
		General English A General English B			General English A General English B			General English A General English B							
兼任	講師	崎野 悦代 <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	崎野 悦代 <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	崎野 悦代 <平成31年4月> 修士(文学)							
		General English A General English B			General English A General English B			General English A General English B							
兼任	講師	岩井 麻紀 <平成31年4月> M.Ed.(TESOL) MA in International Affairs	兼任	講師	岩井 麻紀 <平成31年4月> M.Ed.(TESOL) MA in International Affairs	兼任	講師	岩井 麻紀 <平成31年4月> M.Ed.(TESOL) MA in International Affairs							
		General English A General English B			General English A General English B			General English A General English B							
兼任	講師	J. Angel <令和2年4月> M.A. in Political Science	兼任	講師	J. Angel <令和2年4月> M.A. in Political Science										
		Practical English A Practical English B			Practical English A Practical English B										
						兼任	講師	M. Perez <令和2年4月> M.S.Ed. in TESOL							
								Practical English A Practical English B							
兼任	講師	D. Chatham <令和2年4月> M.S.Ed. in TESOL	兼任	講師	D. Chatham <令和2年4月> M.S.Ed. in TESOL	兼任	講師	D. Chatham <令和2年4月> M.S.Ed. in TESOL							
		Practical English A Practical English B			Practical English A Practical English B			Practical English A Practical English B							
兼任	講師	E. Dean <令和2年4月> Bachelor of Science	兼任	講師	E. Dean <令和2年4月> Bachelor of Science										
		Practical English A Practical English B			Practical English A Practical English B										

兼任	講師	戸来 知子 <令和3年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	戸来 知子 <令和3年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	戸来 知子 <令和3年4月> 修士(教育学)						
		社会制度論 生涯学習論			社会制度論 生涯学習論			社会制度論 生涯学習論						
兼任	講師	谷 充弘 <平成31年4月> 教育学修士	兼任	講師	谷 充弘 <平成31年4月> 教育学修士	兼任	講師	谷 充弘 <平成31年4月> 教育学修士						
		視覚聴覚障害教育総論			視覚聴覚障害教育総論			視覚聴覚障害教育総論						
兼任	講師	和角 輝美子 <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	和角 輝美子 <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	和角 輝美子 <平成31年4月> 修士(教育学)						
		視覚聴覚障害教育総論			視覚聴覚障害教育総論			視覚聴覚障害教育総論						
兼任	講師	赤木 和重 <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	赤木 和重 <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	赤木 和重 <令和2年4月> 博士(学術)						
		発達障害教育総論			発達障害教育総論			発達障害教育総論						
兼任	講師	新野 緑 <令和3年4月> 博士(文学)	兼任	講師	新野 緑 <令和3年4月> 博士(文学)	兼任	講師	新野 緑 <令和3年4月> 博士(文学)						
		英語文学の世界			英語文学の世界			英語文学の世界						
兼任	講師	八木 麻理子 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	講師	八木 麻理子 <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	講師	八木 麻理子 <令和3年4月> 博士(医学)						
		知的障害児等の発達と診断 肢体不自由児等の保健と指導			知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理			知的障害児の心理・生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理						
兼任	講師	園府寺 美 <令和3年4月> 医学士	兼任	講師	園府寺 美 <令和3年4月> 医学士	兼任	講師	園府寺 美 <令和3年4月> 医学士						
		病弱児等の保健と指導			病弱児の心理・生理・病理Ⅱ			病弱児の心理・生理・病理Ⅱ						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教職課程認定申請指図書事項の対応により、科目名称の変更および、兼任教員の追加を含む担当者を変更。
- ・内田 祐貴講師の職名を「准教授」に変更。
- ・山内 啓子准教授の職名を「教授」に変更。
- ・兼任・兼任の授業担当者の退任により、他の担当者に変更。

【令和2年度】

- ・科目の充実を図り、オムニバス科目の担当者を追加。
- ・兼任の授業担当者の職名を変更。
- ・兼任・兼任の授業担当者の退任により、他の担当者に変更。

【令和3年度】

【令和4年度】

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
14	5	5	0	24	0	15	5	4	0	24	0
(14)	(4)	(5)	(0)	(23)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
15	5	4	0	24	0	15	5	4	0	24	0
[1]	[]	[Δ1]	[]	[]	[]	[1]	[]	[Δ1]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	7 名	13 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{24} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{7}{24} = \boxed{29.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
			合計 (D)		後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし								
			合計 (F)		後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置時 (30年7月)	遵守事項 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	履行中 完成年度には、24名中13名が定年年齢(65歳)を超えることになる。これは、定年規程に則った再雇用であり、完成年度までの再雇用は既に常務理事会の承認を得、本人にも通知している。	完成年度後の教員組織編成について、優秀な若手教員を採用するなどして、バランスのとれた年齢構成を目指す。
設置計画履行状況調査時 (令和2)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 1学期の授業期間 15週	① コロナ禍により、前期授業期間を13週とした。 授業期間以外に補講・補習期間を3週間設定し、 授業科目の必要に応じての利用を可能にしている。 当初のシラバスに示している学修内容と学修時間を 担保することになっている。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 開催は7回を予定</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・授業方法について研究会 ・教員相互の授業参観 ・授業評価アンケートの実施 など</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>① 授業方法について研究会 ② 教員相互の授業参観 ③ 授業評価アンケート ④ 自己点検・評価</p> <p>b 実施方法</p> <p>① 学内教員が実施 ② 各授業に参観 ③ 前期と後期で全科目を実施 ④ 前期と後期の授業アンケートを基に実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>① 2回 1回以上の参加は100%を目指す ② 年1回 2週間 参加率75% ③ 年2回 ④ 年2回</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>① 各教員に委ねている ② 各教員に委ねている ③ 学科による確認・指導 ④ 学科による確認・指導</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 前期：7/27～8/28を予定 後期：1/7～2/1を予定</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 学内サイト（学内専用）、公式サイトに掲載</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表中</p> <p>・平成28年4月 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>・自己点検・評価報告書をホームページ上で公開</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・令和2年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受ける予定</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>≪ aで「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [調査結果公表後2～3ヶ月以内]</p> <p>c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]</p> <p>≪ aで公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 []</p>

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。